

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 7th Sense 彩都駅前 保護者等数(児童数) 20 名 回収数 14 割合 70 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	14	0	0	0		今後もお子様の様子・状況、支援内容等の活動に合わせてスペースを十分とるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	14	0	0	0		専門職員からの研修等、皆さまに還元していきたいと思えます。また職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	14	0	0	0		ステップフリー・多機能トイレ・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	0	0	0		今後も清掃等細かい所にも目を配り、快適な空間を作っております。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	10	0	0	0		施設での様子だけでなく、家庭・園等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成してまいります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	13	0	0	1		お子様に必要な支援項目を設定し、具体的でわかりやすい支援内容の設定に努めてまいります。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	0	0	1		口頭および報告書も活用し、モニタリングを丁寧に行い、説明もわかりやすく行ってまいります。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	14	0	0	0		お子様の状況に合わせて様々なプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	1	1	4		現在、園の子どもたち等との交流の機会はありませんが、参観やカンファレンス等、柔軟に対応したいと考えております。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	14	0	0	0		わかりやすく、またわかりにくい時はご質問していただけるようご対応してまいります。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	14	0	0	0		わらいおよび支援内容を作成時あるいは通所時におきましても支援計画を示しながらご説明してまいります。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	9	2	2	1		現在特にペアレント・トレーニングは実施していませんが、導入の計画がございます。現段階ではレッスンの振り返りの際、家庭での支援の方法についてもお伝えする形で支援してまいります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの健康や発達の状況、課題につ いて共通理解ができているか	14	0	0	0		今後も普段からお子様について の共通理解を進めていけるよう に努めてまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われている	13	1	0	0		定期的な面談になるようお声か けをしております。また定期的 な面接以外でもご相談を受けて つけておりますので、どうぞお声 掛けください。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ている	6	2	2	4		現在、交流会は設けておりませ んが、開催できるよう考えていま す。保護者の方へ必要な情報を 個々に提供できるよう努めてまい ります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れにつ いて、対応の体制が整備されているとともに、 子どもや保護者に周知・説明され、相談や 申入れをした際に迅速かつ適切に対応され ている	12	1	0	1		契約時に相談や申入れについて 一通りのご説明は行っておりま す。またレッスン時を含めていつ でも職員にお声かけください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされている	14	0	0	0		今後も意思の疎通や情報伝達の ための配慮をしております。
	18	個人情報の取扱いに十分注意されている	14	0	0	0		職員一同、個人情報の取扱いに は十分に気をつけてまいります。
非常時 等の 対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアル等を策定し、保護者に 周知・説明されている。また、発生を想定し た訓練が実施されている	12	0	1	1		避難確保計画は事務所にどなた でもご覧いただける場所に設置 いたします。利用者である子ども も含めた避難について建物の外 に出るまでのシミュレーションは 適宜実施してまいります。
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われている	12	1	0	1		職員による避難計画等を定期的 に実施しております。お子さん を含めた避難訓練も実施してま いります。
満足 度	21	子どもは通所を楽しみにしている	14	0	0	0		楽しく通所していただきありが とうございます。
	22	事業所の支援に満足している	14	0	0	0		支援に対してご要望がございま したらいつでもお知らせください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 5年 4月 3日

事業所名 7th Sense 彩都駅前 保護者等数(児童数) 55 回収数 44 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	41	3	0	0		お子様の様子・状況、支援内容等の活動に合わせてスペースを十分とるよう努めてまいります。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	42	1	0	1		専門職員による研修等、皆さまに還元していきたいと考えております。また今後も職員研修を通じて、専門性の向上に努めてまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	38	0	0	6		ステップフリー・多機能トイレ・施設内はバリアフリーとなっております。何かお気づきの点ありましたら、お知らせください。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	41	2		1		施設での様子だけでなく、家庭・学校等での様子、また発達検査の結果も考慮して計画を作成してまいります。またわかりやすい説明を職員一同心がけてまいります。
	5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	41	1		2		職員研修や会議を通して様々なプログラムを提供できるように取り組んでまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	12	17	9		現在、放課後等児童クラブや児童館等との交流の機会はありませんが、柔軟に対応したいと考えております。
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	3	0			丁寧なご説明を心がけてまいります。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	42	0	0	2		日頃から情報交換・情報共有を心がけ、お子様についての共通理解を進めていけるように努めてまいります。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	41	0	1	2		定期的な面談を実施してまいります。また定期的な面談以外でもお気軽にどうぞお声かけください。

保護者への説明等	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6	11	9	18	現在、交流会は設けておりませんが、今後は機会を設けていきたいと考えています。また保護者の方へ必要な情報を個々に提供できるよう努めてまいります。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38	1	0	5	苦情やご意見があった場合には真摯に速やかに対応してまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43	1	0	0	今後も意思の疎通や情報伝達等のための配慮について、努力してまいります。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	4	1	7	HP内のブログ等で積極的な発信や会報等にて活動に関する発信を行うように努めます。
	14	個人情報に十分注意しているか	42	0	0	2	職員一同、個人情報の取扱いについて、十分注意してまいります。
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	1	0	4	避難確保計画は事務所にどなたでもご覧いただける場所に設置しております。利用者である子どもも含めた避難について建物の外に出るまでのシミュレーションは適宜実施してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	28	2	0	14	職員による避難計画等の見直し・訓練を定期的実施しております。子どもたちへの訓練についても計画的に行ってまいります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	42	2	0	0	楽しく通所していただきありがとうございます。 お子さんの通所に関するご希望等、いつでもご相談ください。
	18	事業所の支援に満足しているか	42	1	0	1	支援に対してご要望がございましたらいつでもお知らせください。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 18日

事業所名 7th Sense 彩都駅前

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		スペースの広さだけでなく、訓練室の構造も子どもに合わせて使用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%		適切に配置しております。今後は年齢層をより広く配置できればと思っております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	部屋に名前とマークをつけています。入口と出口をわけています。	待機場所とレッスンを行う部屋を分けているため、気持ちの切り替えがしやすい環境を提供している。また、換気等の衛生面での工夫、レッスンの部屋の中も可能な限り刺激の少ないよう整備しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	91%	9%	空気清浄機の設置を	毎日清掃を行い、活動がしやすい環境を整えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	82%	18%	会議を録画して、参加できない人でも視聴できるようにしています。	会議により話し合いの機会を持っておりませんが、より周知徹底するよう努めてまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	レッスン終了後のコミュニケーション、ビジネスLINEを積極的に活用するなど情報共有を密にするよう心がけております。	年に1回アンケートを実施し、いただいた意見をサービス向上につなげられるように努めております。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公開しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者評価は実施しておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	全員がレッスン内で実施できるようシステムティックにしています。	全体研修、事業所内研修、課題図書の設定など、資質向上のための時間を確保しています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		定期的に会議で情報共有を行い、計画の作成をしております。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	82%	18%	保護者同意のもと、必要に応じてレッスン内で使用することもあります。	標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		支援に必要な項目を支援内容に設定しております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		指導時の内容を考える指針とし、実際の支援に反映させています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	日々の昼礼、週に1回支援の見直し等の会議、月に1回重点的な会議を持っています。	指導に関わる全てのスタッフの意見を参考に作成しています。週1回のミーティングを実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	スタッフ間での情報共有や外部研修等に参加するなど固定化しないよう工夫しています。	複数の指導員で担当し、かつ子どもの状況に合わせて変化させています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	73%	27%	子どもの状況や様子に合わせてお声かけをさせていただいています。	原則個別療育指導の為、集団活動を行うことはほとんどありませんが年に数回、小集団指導(希望者)を組む他に、子どもの様子に合わせて今後も適宜入れていきます。その場合は支援計画を別に設定しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		レッスンの準備の際、適宜打ち合わせを行っております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		レッスン終了後、レッスン報告書記載後に、気になった点について適宜共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	検証・改善のための表を作成しています。	報告書にて支援の振り返りと共有を行っています。特記事項については追加で口頭にて共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		定期的にモニタリングを行い、その都度達成度の確認と内容の見直しをしています。
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	子どもの様子により参加職員を決めています。	日常のレッスンの情報を共有した上で児童発達支援管理責任者、児童指導員、専門職員が会議に参画しております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	保護者を軸にして行政機関との連携から拡大しています。	必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	0%	-	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は現在利用されていません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	0%	-	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は現在利用されていません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との連携は今後前向きに対応していきたいと考えております。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%		小学校の先生との連携の幅を少しずつ広げ、情報共有を密に行っていけるよう努めてまいります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	45%	55%		必要に応じて専門機関との連携はとっておりますが、十分とはいえませんので今後積極的に連携をとっていきたく考えております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現在交流の機会をほとんど持っておりませんが、今後前向きに検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		地域自立支援協議会子ども部会へは要望があった時のみ参加しております。事業所交流会、事業所説明会、茨木市事業所連絡会(コアメンバーの会)へは参加しております。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%		お子様への対応方法についての支援を適宜行っております。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		記載事項の内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		相談には随時受け付けております。相談内容にあった助言・支援を行うよう務めております。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者同士の連携の支援は行っておりません。希望が多ければ今後検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えております。相談は随時受け付けております。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		会報の発行は行っておりませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行っております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		個人情報のファイルは鍵のついていない棚に保管しております。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用してまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		地域に開かれた事業はできておりません。今後要望がございましたら検討してまいります。
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		職員には研修で周知できていますが、保護者の方への周知で不十分な点は改善して参ります。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		定期的に訓練を実施しております。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	91%	9%		施設利用開始時に確認をとっておりますが、随時確認作業もしております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	0%	-	食事の提供は行っておりません
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員が書きやすいような配置にしています。	ヒヤリハットの内容をまとめ、全スタッフで共有しております。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	職員が興味を持ちやすいような内容も盛り込んでいます。	年1回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%		年1回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。



放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 18日

事業所名 7th Sense 彩都駅前

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		スペースの広さだけでなく、訓練室の構造も子どもに合わせて使用できるようにしています。
	2	職員の配置数は適切である	82%	18%		適切に配置しておりますが、偏りが無いよう今後も気をつけてまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		待機場所とレッスンを行う部屋を分けているため、気持ちの切り替えがしやすい環境を提供しています。また、このコロナ禍、過密にならないように工夫をしています。レッスンの部屋の中も可能な限り刺激の少ないよう整備しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		会議により話し合いの機会を持っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	レッスン終了後のコミュニケーション、ビジネスLINEを積極的に活用するなど情報共有を密にするよう心がけております。	年に1回アンケートを実施し、いただいた意見をサービス向上につなげられるように努めております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		ホームページで公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者評価は実施しておりません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	全員がレッスン内で実施できるようシステムティックにしています。	全体研修や課題図書の設定、会議において資質向上のための時間を確保しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		定期的に会議で情報共有を行い、計画の作成をしております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	82%	18%	保護者同意のもと、必要に応じてレッスン内で使用することもあります。	標準化されたアセスメントツールを使用しております。アセスメントツールについて全スタッフが理解できるように努めてまいります。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	日々の昼礼、週に1回支援の見直し等の会議、月に1回重点的な会議を持っています。	指導に関わる全てのスタッフの意見を参考に作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	スタッフ間での情報共有や外部研修等に参加するなど固定化しないよう工夫しています。	複数の指導員で担当し、かつ子どもの状況に合わせて変化させています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	夏休みのみ夏休み企画を設定して支援をしています。	個別支援のため、曜日によつての支援内容の変更は基本的にはございません。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	73%	27%	子どもの状況や様子に合わせてお声かけをさせていただいています。	原則個別療育指導の為、集団活動を行うことはほとんどありません。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%		レッスンの準備の際、適宜打ち合わせを行っております。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%		レッスンの中で気になった点について会議の有無にかかわらず適宜共有しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		報告書にて支援の振り返りと共有を行っていません。特記事項については追加で口頭にて共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		定期的にモニタリングを行い、その都度達成度の確認と内容の見直しをしています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%		ガイドラインを元に支援内容の検討を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%		日常のレッスンの情報を共有した上で児童発達支援管理責任者、児童指導員、専門職員が会議に参画しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	保護者を軸にして行政機関との連携から拡大しています。	学校との情報共有はコロナ禍でもあったため十分とは言えませんが、今後、積極的に連携を行っていきたくと考えております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	100%	0%		医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等は現在利用されておられません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%		就学前に利用していた事業所等との情報共有は十分とは言えないので、今後、積極的に連携を行っていきたくと考えております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		現時点で障害福祉サービスへの移行された利用者の方がいらっしゃらないので、連携は行っておりません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	45%	55%		専門機関との連携は十分ではないので、今後積極的に連携をとっていきたくと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		現在交流の機会をほとんど持っておりませんが、今後前向きに検討してまいります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9%	91%		地域自立支援協議会へは要望があった時のみ参加しております。事業所交流会、事業所説明会、茨木市事業所連絡会(コアメンバーの会)へは参加しております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		ご利用ごとにLINEメッセージにて、具体的な支援内容や発達の状況を伝え、共通理解を持てるように努めております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		お子様への対応方法についての支援を適宜行っております。
保護	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		契約時に読み合わせを行い、疑問点が残らないように説明を行っております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%		相談には随時受け付けております。相談内容にあった助言・支援を行うよう務めております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		保護者同士の連携の支援は現在行っておりません。希望が多ければ今後検討いたします。

者への説明責任等	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		子どもや保護者に対して、相談や申し入れに対する対応体制があることを伝えております。相談は随時受け付けております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	0%	100%		会報の発行は行っていませんが、HPやLINEメッセージを活用して活動についての情報発信を行ってまいります。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		個人情報のファイルは鍵のついている棚に保管しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		情報伝達のための伝え方のスキル向上や、必要に応じて電子機器等も利用してまいります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		地域に開かれた事業はできておりません。今後要望がございましたら検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		職員には研修で周知できていますが、保護者の方への周知で不十分な点は改善して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		定期的に訓練を実施しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	職員が興味を持ちやすいような内容も盛り込んでいます。	年1回以上、虐待についての認識を深められるように研修を行っています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		身体拘束に関しては、どのような場合に行うか、また行った際の対応を保護者に説明をした上で、放課後等デイサービス支援計画に記載しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	0%	0%	-	食事の提供は行っていません
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員が書きやすいような配置にしています。	ヒヤリハットの内容をまとめ、全スタッフで共有している。	